

4

文をつくるしをあじわう

がくしゅうび /

1 つぎの それぞれが、いみの とおる 正しい 文に
 なるように、に入る ことばを、あとから 一つ
 ずつ えらんで かきましよう。

(1) わたし 、ピアノ
 ならって いる。

(2) にわ さいた 花
 きいろだ。

(3) いえ 、わすれもの
 とりに いく。

(4) よばれた 人 、まえ
 出なさい。

(5) ぼく すきな くだもの
 すいかだ。

は
を
の
に



2 つぎの それぞれの 文の いみが かわらないよう
 に いいかえた とき、に入る ことばを か
 んがえて かきましよう。

(1) ぼくの しょうらいの ゆめは、マラソンランナーに
 なる ことです。

ぼくは、しょうらい、マラソンランナーに



(2) おとうとは、わたしから じてんしゃを かりました。
 わたしは、おとうとに じてんしゃを



3 つぎの それぞれが、いみの とおる 正しい 文に
 なるように、に 入る ことばを、あとから 一
 つずつ えらんで かきましよう。

(1) あしたは、あめが

- ふるでしよう
- ふりました
- ふったようです

(2) せんしゅうの 金よう日は、ともだちと
 で

- あそびます
- あそびましよう
- あそびました



(3) ぼくは、
 きみが やくそくを

まもると しんじて いました。

- きつと
- もし
- けっして

(4)
 あの 子は とつぜん おこり

だしたのでしょうか。

- もし
- なぜ
- まるで

(5) あさがおは、
 花が かれて し

まいました。

- もう
- やつと
- まだ



4 つぎの しを あじわって、あとの もんだいに こたえましょう。

□(1)

——せん①「らいおんみたいに／どなるんだもん」は、だれの、どんな きもちで いる ようすを あらわしていますか。かいて こたえましょう。

□(2) —せん②「かまきりみたいな／めだま」は、だれの、どんな 目の ようすを あらわして いますか。かいて ください。

□(3) —せん③「ぼくもすこし／おこってるな」と ありますが、「ぼく」が おこって いる ことは、どんな ことから わかるのですか。かいて ください。

□(4) この しを よんだ かんそうに ふさわしいものをつぎから 一つ えらんで、()に○を かいて ください。

・ () けしきが くわしく そうぞうできて、目に うかんで くるようです。

・ () リズムが あり、ことばが くりかえされて いて、 うたのようです。

・ () 「ぼく」の かなしみや さびしさが つよ く つたわって きます。

□(5) 「おこってるな」の しに ならって、「わらってるな」と いう だいめいで、しを かきましよう。

